



平成16年度第1回 「保険医療医師研修懇談会」を開催 —審査上の問題で活発な意見交換—

北海道医師会では平成14年度から、基本的活動方針の重点項目の一つに医の倫理の高揚を掲げ、中でも保険医療に関わる研修活動を積極的に行ってきた。今年度もこの懇談会を全道8カ所での開催を予定しているが、その第1回を6月16日(水)に紋別医師会のお世話で開催した。当会からは三宅医療保険部長、浜上・山本両部員が講師として出向き、地元医師会からは会員33名中32名の出席で、この懇談会に対する関心の高さがうかがわれた。

研修内容は、「保険診療上のルールと保険指導・監査」「名義貸しに係る保険医療等の取扱い」「保険審査上の留意事項(内科系・外科系)」のほか、保健所が毎年行う「医療法に基づく立入検査」の今年度の重点項目に関する情報提供も行われた。

午後6時30分から2時間の開催であったが、その間活発な意見交換が行われ、特に審査上の問題については、各質問に対し3人の講師から内科・外科、社保・国保、それぞれの立場からの懇切丁寧な回答がなされた。



当会ではこの後、8月4日(水)宗谷医師会(稚内)、9月10日(金)根室市外三郡医師会(中標津)、10月15日(金)江別医師会(江別)、11月18日(木)千歳・恵庭市・北広島医師会(千歳)での開催を決定しており、そのほか石狩、檜山・北部檜山、帯広市・十勝の各医師会での開催も予定している。管下会員の出席を期待する。